専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

【国立病院機構北海道がんセンター】		連携領域	外科、眼科、麻酔科

病院情報	
住　所	〒003-0804 札幌市白石区菊水４条２丁目 ３番 54 号
連絡先	011-811-9111（代表）
病床数	520 床
理　念	私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めます。

専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

【国立病院機構北海道がんセンター】		連携領域	外科、眼科、麻酔科

病院情報

住　所	〒003-0804 札幌市白石区菊水４条２丁目 ３番 54 号
連絡先	011-811-9111（代表）
病床数	520 床
理　念	私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めます。

領域別研修紹介

領域名	眼科	指導医数		名	専門医数	1	名

研修責任者（氏名、略歴、資格、コメントなど）

眼科医長　清水恒輔

2007 年旭川医科大学卒業（29 期）

日本眼科学会専門医

研修紹介欄（研修の特色、施設のストロングポイント、学会認定施設、連絡先など）

眼科ではがんの患者さんに関わらず、白内障手術、涙道手術を中心とした一般的な診療を行っています。

がん治療を受けている患者さんが多く、癌関連網膜症などの腫瘍随伴症候群や、化学療法の副作用で生じる眼疾患の症例を多くみることができます。

患者さん一人一人と話し合い、QOL の向上のための治療を考えることが我々の役目です。

○日本眼科学会専門医制度研修施設

領域別研修紹介

領域名	外科	指導医数	1	名	専門医数	1	名

研修責任者（氏名、略歴、資格、コメントなど）

北海道がんセンター副院長　高橋将人
1989 年旭川医科大学卒業(11 期)
日本外科学会指導医、専門医
日本乳癌学会指導医、専門医
日本家族性腫瘍学会指導医、専門医
日本臨床腫瘍学会協議員
日本癌治療専門医機構がん治療認定医

研修紹介欄（研修の特色、施設のストロングポイント、学会認定施設、連絡先など）

当院はがん治療に特化しており、外科は消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科で構成されています。全身麻酔手術数(消化器外科 240, 乳腺外科 380, 呼吸器外科　240)も多く、がんに関する治験は北海道の基幹施設です。二次救急が少ないのはデメリットかもしれませんが、その分研修医が少なく、スタッフはベテランが揃っているため、執刀を含めた多くの診療経験を積むことが可能だと思います。旭川医科大学との連携は基本呼吸器外科としていますが、外科研修の方法は希望により相談可能です。

○日本がん治療認定医機構認定研修施設
○日本外科学会認定医制度修練施設
○日本消化器外科学会専門医修練施設
○日本大腸肛門病学会専門医修練施設
○日本乳癌学会認定施設
○日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設

専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

【国立病院機構北海道がんセンター】		連携領域	外科、眼科、麻酔科

病院情報	
住　所	〒003-0804 札幌市白石区菊水４条２丁目 ３番 54 号
連絡先	011-811-9111（代表）
病床数	520 床
理　念	私たちは、国民の健康のために、良質で信頼される医療の提供に努めます。

領域別研修紹介

領域名	麻酔科	指導医数		名	専門医数	6	名

研修責任者（氏名、略歴、資格、コメントなど）

北海道がんセンター　麻酔科医長

1998 年　旭川医科大学卒業（20 期）

日本麻酔科学会　専門医

研修紹介欄（研修の特色、施設のストロングポイント、学会認定施設、連絡先など）

がん治療にかんする北海道の基幹施設であり、外科系各科のメジャーながん手術をほぼ網羅しています。

また、腹腔鏡やダビンチなどの先進的な治療にも積極的に取り組んでいます。

当院は病院の性格上、大き目の手術が多いのですが、毎年 2000 例余りの症例に麻酔科が関わっています。外科系は各科とも満遍なく症例が豊富なのですが、呼吸器外科の手術が毎年 250 件前後あり、分離肺換気の麻酔が多いのが当院の麻酔科としての特徴です。

当院では手術前後も含め化学療法が多いことなどから、PICC 挿入の需要が多く年間 800 例近く麻酔科が挿入しています。手術の全身麻酔時の挿入が 400 例近くで、それ以外にも内科などからの依頼により年間 400 例位を挿入しています。

麻酔科の保有するエコーも台数が多いので、PICC や CV に限らず、血管が体表からは見えない患者さんの点滴ルート確保（末梢血管確保）や A ライン確保にもエコーを活用し、患者さんの苦痛の軽減に役立っています。

○日本麻酔科学会　麻酔科認定病院